

会員に入会されますと月刊誌「道路」をお送りします。
最新号のみ購入希望の方は info@road.or.jp までお申し込み下さい。

道路

Road Engineering & Management Review

8
August
2018
Vol. 929

C O N T E N T S

3 宮田年耕会長就任挨拶

4 巻頭インタビュー

明治以降の道路の役割と機能等 について

伊東 孝

特集 明治以降の道路の変遷 - 明治150年の節目 -

- | | | |
|----|---|-------|
| 12 | 道路からみた歴史と文化 | 浅井 建爾 |
| 16 | イザベラ・バードがみた明治の北海道の道
歴史の道を復元しエコツアーで地域振興 | 金子 正美 |
| 20 | 大正期の帝都復興計画と昭和期の道路思想の展開 | 越澤 明 |
| 28 | 戦後の高速道路整備の歴史
日本の道路は信じがたいほどに悪かった | 西川 了一 |

トピックス

- 32 関西の明日を創造するために
～将来へ向けてのプロジェクト～
道路技術勉強会第20回記念シンポジウム開催報告 寺尾 敏男

36 オープンカフェ -sidewalk cafe-

地域いきいき：九州

- 38 県南初の高速道路
「東九州自動車道」開通を迎えて 山下 智慎
- 40 24時間安全安心な道路環境を提供するために
九州高規格道路管理センターの活動状況 安仲 努
- 42 博多部における歴史・文化に配慮した
趣ある道路整備の取組
「博多旧市街プロジェクト」始動！まちなみがまちの魅力・宝をつなぐ 工藤 修一

リレー連載 道の駅 - 地方創生の拠点から -

- 44 第34回 道の駅「古今伝授の里やまと」
まちづくりとともに歩む和歌の里の道の駅
道の駅の機能を地域課題解決に生かすとともに成長し続ける 水野 正文

ZOOM UP 道路技術の最前線

- 46 道路橋床版の維持管理の効率化技術
衝撃荷重載荷試験機(SIVE)と曲率に着目した状態判定による
劣化度評価システムの開発 横山 広/原田 政彦/榎谷 浩/深田 幸史

技術情報

- 48 「平成29年度道路橋示方書に基づく道路橋の
設計計算例」の概要 岡田 太賀雄

国際会議報告

- 50 REAAの活動現況について 橋場 克司/黒田 孝次/鳥居 康政

56 交差点

58 第72回定時総会報告

第72回定時総会報告58/会長挨拶59/平成29年度事業報告60/
平成30年度事業計画67/正味財産増減計算書71/平成30年度収支予算総括表72

74 統計資料 76 国内のうごき 84 編集後記

- 53 協会からのお知らせ
「IRF Global R2T Expo & Conference」における「日本セッション」のご案内
- 54 協会からのお知らせ「第26回世界道路会議(アブダビ大会)論文募集」
- 57 協会からの報告「平成29年度日本道路協会会長奨励賞表彰式を行いました」
- 80 日本道路協会出版図書案内
- 巻末1 正会員入会のご案内
- 巻末2 図書発刊のご案内「道路技術基準 温故知新～道路関係技術基準の誕生から現在までの記録～」

Main Contents

4 Interview

The Role of Roads and Its Functions
After the Meiji Era
ITO Takashi

Special Feature

Transformation of Roads from
the Meiji Period Onwards
- at a 150 Year-Turning Point
Since the Beginning of Meiji Era

12 The History and Culture from the
Viewpoint of Roads
ASAI Kenji

16 Roads in Hokkaido in the Meiji Period
Seen by Isabella Bird
KANEKO Masami

20 The Teito Rehabilitation Project in the
Taisho Era and the Development of
Road Philosophy in the Showa Era
KOSHIZAWA Akira

28 History of the Development of
Expressways in the Postwar Years
NISHIKAWA Ryoichi

表紙 写真

帝都復興事業の総括図

大正12年の関東大震災発生後、政府は壊滅した東京と横浜の復興計画を政府主導で立案・実施するため、帝都復興院を設立し(翌年、復興局に改組)、内務省と鉄道省の人材を結集した。昭和5年に帝都復興事業は完成し、首都東京の都市改造が実現し、近代国家の首都にふさわしい姿に生まれ変わった。帝都復興事業によって、道路、橋梁、公園、街路樹、耐震建築、共同住宅など、各分野のインフラ整備の計画・技術・学術が飛躍的に向上した。(図版：越澤明氏所蔵、表紙紹介文：本誌P20より抜粋)

